

6月
環境月間

街なかの身近なごみが、海ごみに直結する

～『水辺のごみ見つけ！』で環境保全活動を！～

- 街なかに出てしまったごみは、用排水路から川を流れて海へと流出する（海ごみの約7割は川を通じて海へ出たと言われている）。
- 河川などの水辺でごみを回収することは、近年課題となっている海ごみの削減のためにも重要！
- 全国川ごみネットワーク（座長：亀山久雄）では、生き物や自然界への影響を及ぼす水辺のごみの散乱状況を全国規模で把握するために、「水辺のごみ見つけ！=全国水辺のごみ調査=」を昨年からの実施し、全国での参加を呼び掛けている。
- 水辺で見つけたごみを報告するだけで誰でも参加できる（団体、個人でもOK）。
- 海洋のマイクロプラスチックごみ問題を考えるためにも、多くの市民が本調査を通じてプラスチックごみ問題への関心を高めることも目的の一つとなっている。

1. 水辺のごみ見つけ！

環境保全活動ははじめの一歩

参加者
募集中！

記録シート→



- 調査項目：①ペットボトル、②レジ袋、③カップ型飲料容器
- 調査期間：2017年11月30日まで
- 報告先：kawa53@kawagomi.jp

水辺で回収した調査項目3種類のごみの個数を報告するだけ（事前エントリー不要）。

- 詳しくはHPを参照 <http://kawagomi.jp/mikke/>（記録シート、報告シートはこちらから）
- ・海・川に通じる身近な水辺での全国のデータを集め、集計・発信し、対策活動を推進する。

2. 全国で5万個以上のペットボトルを回収！（2016年）

昨年（6月から11月までに）「水辺のごみ見つけ！」として報告された水辺のごみは、ペットボトルだけで50,347個、レジ袋11,343個となった。これらプラスチック容器包装類は、拾うだけでなく、発生源対策の強化を啓発していく。



2016年、全国13都府県の208地点で、市民団体、児童館、企業などの128団体(個人)合計のべ9,951人が、本調査に取り組んだ。



【本件に関するお問い合わせ】 全国川ごみネットワーク（担当：伊藤）

TEL：080-5006-7307 E-mail：kawa53@kawagomi.jp ホームページ：http://www.kawagomi.jp/